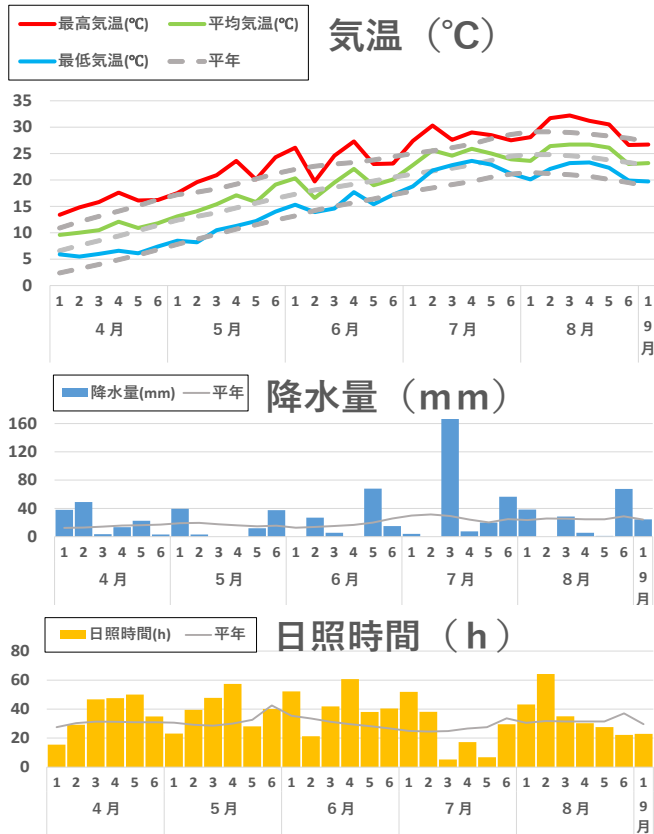


### 刈取適期の判断を行い、計画的な作業に努めましょう

#### 1 気象経過と生育状況

【気象経過】 これまでの気象経過（アメダスポイント：能代）



○気温は4月から全体を通して高めに推移したものの、7月6半旬～8月1半旬にかけては、一次的に気温の低い日が続きました。

○降水量は、全体として少雨傾向でしたが、6月下旬以降は数回にわたる集中豪雨により、記録的な大雨となる日がありました。また、8月下旬以降は短期間の局地的な豪雨が相次いでいます。

○日照時間は、4月から7月上旬にかけては、多照傾向となりました。しかし、7月中・下旬以降は降雨の時期と重なったことで日照不足となりました。8月4半旬からは曇天日が多く、日照時間は少なめで推移しています。

#### 【生育状況】

○9/2の管内水稻定点調査ほ（9地点、品種：あきたこまちR）の生育は、稈長・

穂長ともに平年並となっています。本年は、7月まで茎数が平年より多く推移したものの、7月中・下旬の日照不足が影響し、穂数は平年並となりました。そのため、有効茎歩合（最高分げつ期の茎数のうち穂になった割合）は低くなっています。

○穂数は平年並となったものの、1穂着粒数が平年よりも少なくなったため、㎡当たり着粒数は平年より少なくなりました。8月下旬からの局地的な豪雨により倒伏がみえてきています。

○定点調査結果（9月2日までの調査結果より）

|      | 稈長<br>(cm) | 穂長<br>(cm) | 穂数<br>(本/㎡) | 有効茎<br>歩合(%) | 着粒数   |        |
|------|------------|------------|-------------|--------------|-------|--------|
|      |            |            |             |              | (粒/穂) | (粒/㎡)  |
| 本年   | 83.0       | 18.2       | 435         | 79.4         | 71.3  | 31,568 |
| 平年   | 83.4       | 18.2       | 431         | 85.4         | 78.4  | 33,564 |
| 前年   | 89.1       | 18.4       | 395         | 87.7         | 81.5  | 32,199 |
| 平年比較 | 100%       | 100%       | 101%        | -6.0         | 91%   | 94%    |
| 前年比較 | 93%        | 99%        | 110%        | +8.3         | 88%   | 98%    |

※平年は過去10力年の9月15日現在の平均値

## 2 刈取適期の判定

○管内の出穂盛期（50％）は、平年より2日早い7月29日でした。積算気温による刈取目安によると、7月29日に出穂期を迎えた場合、9月6日には早生品種の刈り取りの目安となる950℃を超えています。早生品種では1100℃、中晩生品種では1200℃を超えると胴割れが懸念されますので、刈り遅れに注意して下さい。

○実際の刈取適期は、収量（着粒数）や施肥体系等によっても前後します。出穂期からの積算気温を参考として、最終的な刈取時期の決定は、各ほ場の籾の黄化程度が90%に達した時期で判断してください。

| 出穂日   | 積算気温到達日 |       |       |       |       |
|-------|---------|-------|-------|-------|-------|
|       | 950℃    | 1000℃ | 1050℃ | 1100℃ | 1150℃ |
| 7月27日 | 9月3日    | 9月6日  | 9月7日  | 9月10日 | 9月12日 |
| 7月29日 | 9月6日    | 9月8日  | 9月10日 | 9月13日 | 9月15日 |
| 8月2日  | 9月9日    | 9月11日 | 9月13日 | 9月16日 | 9月18日 |
| 8月5日  | 9月13日   | 9月16日 | 9月18日 | 9月21日 | 9月23日 |
| 8月8日  | 9月17日   | 9月20日 | 9月23日 | 9月25日 | 9月28日 |
| 8月10日 | 9月20日   | 9月23日 | 9月25日 | 9月28日 | 10月1日 |

※9月7日以降のデータは平年値を使用。管内の出穂盛期は7月29日。

### 【刈取適期の判定基準】

#### ①籾の熟色

葉や穂首が緑色であっても籾の黄化程度が90%（黄色＋黄白色の籾数の割合）の頃

#### ②出穂後の積算気温（出穂期翌日から日平均気温を積算した値）

早生種：あきたこまち等・・・950～1,050℃

中晩生種：めんこいな・・・1,050℃

ひとめぼれ、ゆめおばこ等・・・1,050～1,150℃

#### ③出穂後の日数

※本年は登熟速度が速いため刈り遅れに注意してください！

早生種：あきたこまち等・・・出穂後45日頃

中晩生種：めんこいな・ゆめおばこ等・・・出穂後50日頃

刈取時期決定

## 3 収穫～調製の留意点

○収穫時の籾水分は25%以下が望ましいため、作業時間帯は稲体が乾燥している午前10時～午後5時頃に設定しましょう。

○米選機の網目は1.9mmを基準とし、整粒歩合80%以上の高品質米を目指しましょう。

○秋の農作業事故に注意しましょう！（秋の農作業安全運動9月10日～10月20日）

■お米をJA・主食集荷商業組合加入業者以外へ直接販売している方は、ご自身の責任で確実に玄米カドミウム濃度を分析し、安全な米を販売してください。

■稲わら焼きは県条例で原則禁止されています。特に、周辺に影響が出やすい10月1日～11月10日までの間、全面的に禁止しています。

「ツキノワグマ出没に関する警報」が発令！！農作業中のクマ被害に十分な警戒を！

不明な点がございましたら、山本地域振興局農林部農業振興普及課（Tel.52-1241）までご連絡ください。